

令和 6 年度 甲斐市定例監査実施報告書

地方自治法第 199 条第 4 項の規定に基づき、次のとおり監査を実施した。

第 1 監査の対象

部 局 名	課 名
	秘書課
	脱炭素社会推進課
	防災危機管理課
総合戦略部	経営戦略課 財政課
総務部	総務課 人事課 スマートプロジェクト推進課
市民部	市民戸籍課 税務課 収納課 保険課
生活環境部	市民活動支援課 環境課 敷島支所市民地域課 双葉支所市民地域課
福祉部	福祉課 障がい者支援課 長寿推進課
子育て健康部	子育て支援課 健康増進課
産業振興部	農林振興課 商工観光課
都市建設部	建設課 都市計画課
公営企業部	上下水道業務課 上下水道工務課
	会計課
教育部	教育総務課 学校教育課 生涯学習文化課 スポーツ振興課 図書館
議会事務局	
監査委員事務局	

第 2 監査の期間

令和 6 年 10 月 17 日（木）から 10 月 28 日（月）まで

第 3 監査の場所

甲斐市役所 本館 4 階 理事者控室

第 4 監査の方法

本年 4 月から 9 月までの 6 か月間に執行された事務事業について、財務に関する事務の執行が法令等の定めるところに従い、適正かつ正確に行われているか、また、事務の執行状況が合理的かつ効率的に行われているかを主眼として監査を実施した。監査に当たっては、事前に監査資料の提出を求め、関係書類等を審査し、関係職員から執行状況の説明を聴取するとともに、各所属の業務目標等についても説明を受け、質疑を加える等の方法により実施した。

第5 監査の結果

各所属における財務に関する事務の執行状況は、概ね適正に処理されているものと認められたが、次の点について課題への取組と一層の創意工夫をされたい。

なお、監査時に気付いた事務処理上の簡易的な事項については、その都度口頭で指摘し、改善等を要請したので記述を省略した。

- (1) 事業の実施においては、国県等の有効な補助金等を十分に調査研究し、市の財政負担軽減のためにも大いに活用していることは評価できる。企業版ふるさと納税やクラウドファンディング等に取り組むことで、一層の自主財源の確保に努められたい。
- (2) 監査での指摘事項・検討課題は課内で情報の共有を図り、適切な事務の執行に努められたい。
- (3) 個別施設計画も策定されていることから、未利用・低利用、老朽化が著しい市有地・施設等については、有効活用する観点から、関係課が連携して早急に売却や統廃合等の検討をしながら、更なる行政改革を進められたい。
- (4) 特命随意契約については、毎年継続して同一事業者と契約している場合は、その有効性について検証し他業者との競争の可能性についても検討するなかで、適用条項を厳格に解釈した上で、公平性、透明性を確保した事務の執行に努められたい。

各所属個別事項

【秘書課】

- ・シティープロモーションは甲斐市の移住定住・人口増・その先の税収増、財政の安定化につながる入口になっている。重要な仕事であるので今後も努力されたい。

【脱炭素社会推進課】

- ・脱炭素社会推進課の事業は大きな先を見据えた事業となる。バイオマス発電からの排熱利用については、アドバイザーの意見等を聞きながら慎重に進められたい。

【防災危機管理課】

- ・8月の豪雨被害の原因の検証を行うことにより、今後被害を最小限に抑えることができるよう関係課と連携を図られたい。

【総合戦略部】

○経営戦略課

- ・市の方向性を決める「第3次総合計画」の策定について、よりよいものを作成されたい。

○財政課

- ・電子入札システム導入について、効率性や業者の業務負担の軽減につながるので進められたい。
- ・入札については、精査し、各課の担当に引き続き指導を行うように。

【総務部】

○総務課

- ・投票率の向上について、ダイレクトメールを送るなど各種努力されていることは評価できる。継続した取り組みが重要となるので、若年層の投票率アップに向けた取り組みを更に努力されたい。

○人事課

- ・「カスタマーハラスメント」対策として、対応マニュアルの策定や被害にあった場合の職員をサポートする体制の構築を早急にされたい。

○スマートプロジェクト推進課

- ・システム標準化・ペーパーレス化・庁内各種申請手続きの電子化等当課が果たす役割は大きいので、これからも積極的に事業を進められたい。

【市民部】

○市民戸籍課

- ・窓口サービス向上における努力は、今後も引き続き実施されたい。
- ・マイナンバーカードについてのガイドブックを作成されたことは評価できるので、活用し普及促進に努められたい。

○税務課

- ・固定資産登記済通知書入力作業の自動化・省力化については、メリット・デメリットについても今後、調査・研究されたい。

○収納課

- ・市民にとって負担が少なく便利な納税方法の検討や収納に興味を持ってもらえるガイドブック作成等、収納率向上につながる研究をされたい。

○保険課

- ・保険料（税）水準が県下統一される令和12年度に向け、分かりやすい説明方法を研究し市民に周知されたい。また、引き続き、基金の使用方法について検討されたい。

【生活環境部】

○市民活動支援課

- ・市民の意見にも耳を傾け、3温泉施設の今後の判断を下す時期にきているので、財政負担を考慮しつつ慎重に進められたい。

○環境課

- ・不法投棄について、監視（防犯）カメラの設置を関係課と協議し進められたい。

○敷島支所市民地域課

- ・小規模自治会の統合については、引き続き地域住民の要望・意見等を集めることに努められたい。

- ・住民と一番近いところにある支所なので、これからも地域要望等の把握に努められ、適切に対応されたい。

○双葉支所市民地域課

- ・双葉保健福祉センターについて、今後のあり方に注視し、関係課と協議を進められたい。

【福祉部】

○福祉課

- ・重層的支援体制整備事業については、市民サービスという観点からも関係課と協議しながら調査・研究を進められたい。

○障がい者支援課

- ・障がい者支援に対する各種施設を子育て支援課と連携し、今後も前に進めるための努力をされたい。

○長寿推進課

- ・高齢者福祉タクシー・バス利用料助成事業については、条件を広げるなど必要とする方が利用できるような制度見直しの検討を早急に行い、結果を示されたい。

【子育て健康部】

○子育て支援課

- ・子ども家庭センターの設置に必要な職員体制等について、関係課と協議・検討されたい。

○健康増進課

- ・保健センター3施設の在り方については、代替案等も含め、関係課と協議し慎重に検討する必要がある。地域住民の意見も聞きながら難しい問題ではあるが進められたい。

【産業振興部】

○農林振興課

- ・農業振興のため、コンサルタントを利用するなど地域を巻き込んだ新しい農業の形を模索されたい。

○商工観光課

- ・魅力発信拠点業務委託の特定業者との特命随意契約については、契約方法・委託内容などこれまでの経緯も含め、過去の担当者にも確認し、早急に報告書を作成し、提出されたい。

【都市建設部】

○建設課

- ・市営住宅の無断増築物の除去費用は、交付金等の交付対象外となるため慎重に対応されたい。
- ・水路については、既存水路の整備だけでなく、他の方法も検討し、市民の安心・安全につながるため早急に検討を実施されたい。

○都市計画課

- ・委託契約の特命随意契約は、例外的であるということを念頭におき、引き続き契約先や契約方法を検討されたい。
- ・補助金の交付先については、利益相反行為に該当しないよう、庁内全体で対応されたい。
- ・（仮称）篠原地区公園整備事業は、適正な予定価格を設定し入札を実施されたい。

【公営企業部】

○上下水道業務課、上下水道工務課

- ・簡易水道事業と水道事業の統合は、簡単なことではない。簡易水道については、他の利用方法の可能性があるかアイデアを出し、研究する必要がある。
- ・竜王地区予備水源確保事業は、災害時等の際、市民の水源確保ということから意義のある事業であると考えられる。積極的に調査・研究を進められたい。
- ・想定浸水区域図等を作成した際には、既存のデジマップに掲載するなど、市民が容易に確認できるようにする必要がある。

【会計課】

- ・公金の適正管理は、安全性・確実性を念頭に置き、研究されたい。

【教育部】

○教育総務課

- ・教育部で実施している個別計画の再確認による事業選択については、意義のある取

り組みであるので、今後も引き続き進められたい。

○学校教育課

- ・不登校の児童・生徒の教育場所の選択としてオンラインの充実化を図るなど、受け皿を用意することも視野に入れられたい。

○生涯学習文化課

- ・ジュニアリーダーの人数を増やし育成するために、交流研修会等の事業を行い進められたい。

○スポーツ振興課

- ・市民の健康維持という意味で様々な工夫を行いながら、各種スポーツを推進されたい。

○図書館

- ・図書館施設の今後の在り方は、市民の反響が大きいと予想できるので、市民の声を聞く中でD X化も含め検討する必要がある。

【議会事務局・監査委員事務局】

- ・監査委員会のペーパーレス化については、今後も他市の状況など調査研究されながら進められたい。
- ・議会の職場体験は、政治に興味がない子どもに政治を身近に感じられるよい機会があるので引き続き進められたい。

令和6年10月28日

甲斐市代表監査委員 小林 春 男

甲斐市監査委員 平 賀 和 久

甲斐市監査委員 赤 澤 厚